

理事主題 Challenges for the future 未来への挑戦

事業主任主題 ワイズの炎を燃やせ！ 活気あふれるクラブライフを謳歌しよう！

目次

- 1) 九州部 EMC シンポジウム
- 2) 中西部 EMC シンポジウム
- 3) 西中国部 EMC 懇談会
- 4) 大阪高槻 会員必携
- 5) 前期半年報より
- 6) 編集後記

<EMC 事業報告書>

クラブで開催した EMC 事業をお知らせ下さい
用紙は→[こちらから](#)
ご協力おねがいます

<編集>

西日本区 EMC 事業主任
山口 雅也
(京都キャピタル)

九州部 EMC シンポジウム 2021/7/4 (日)

九州部評議会のあと、EMC シンポジウムを開催しました。参加者は、九州部 17 クラブの内、15 クラブの会長 (又は代理) と部役員、区役員など約 40 名でした。「EMC 事業計画書」「わがクラブの取り組み」の二つの書類をもとに各クラブが報告しました。

九州部ならではの事業もあり、話し合いに熱が入り活発なシンポジウムとなった。クラブの個性や強みを生かした EMC 活動を期待しています。

九州部 EMC 主査 平山俊生さん EMC 事業実施報告書より

中西部 EMC シンポジウム 2021/7/17 (土)

山口 EMC 事業主任による基調講演を行っていただき、5 月に各クラブに作成、提出いただいた EMC 事業計画を発表してもらいました。

西日本区、中西部の会員数など現状を理解し、各クラブの現状を中西部会員メンバーで情報と危機感を共有する機会となりました。

当日は、リモート併用のハイブリット型のシンポジウムとし、会場 33 名リモート 13 名の計 46 名での開催となりました。

会員増強についてクラブを超えて、部を超えて実践できる機会としました。シンポジウム実施後にアンケートをご提出いただき、今期一年間の活動のための重要な参考資料といたします。

中西部 EMC 主査 清水真一さん EMC 事業実施報告書より

目次

- 1) 九州部 EMC シンポジウム
- 2) 中西部 EMC シンポジウム
- 3) 西中国部 EMC 懇談会
- 4) 大阪高槻 会員必携
- 5) 前期半年報より
- 6) 編集後記

<ブリテンへの御礼>
ブリテンを郵送やメールでお送りいただきありがとうございます。
EMC 事業を中心に拝読しております。紙媒体でファイルしています。今、1.5センチ位の高さになりました。期末には何センチになっているのか楽しみです。

<編集>

西日本区 EMC 事業主任
山口 雅也
(京都キャピタル)

西中国部 EMC 懇談会 2021/7/3 (土)

福山クラブと東広島クラブが会員数減少で困難な状況にあることを部全体で共有し、クラブ存続に向けてどのように取り組んでいくかをテーマに話し合いました。2クラブの代表から「現状・今後の方向性」の報告がありました。

- 1) 楽しい例会作りのために合同例会を計画する
- 2) 会員増強のため他クラブからアクティブ会員の移籍を検討する
- 3) クラブの柱となる事業確立
- 4) 事業を支えるファンドの活用などの課題について

報告のあと、各方面から貴重な意見をいただきました。今後は部評議会を通じて両クラブの継続に向けた取り組みを応援していくことを確認しました。

西中国部 EMC 主査 金子敏郎さん EMC事業実施報告書より

※今号は部の EMC 事業でしたので、特別に事業主査さんから報告書をいただきましたが、通常はクラブの EMC 担当者様から、理事、部長、事業主査、事業主任の4つの宛先へ直接お送りください。

会員必携 (冊子) をいただきました 大阪高槻クラブ

過日開催の中西部 EMC シンポジウムにて大阪高槻クラブの会長森本榮三さんから、クラブで作成し、メンバーに配布されている『会員必携 2021-2022 年度』をいただきました。こちらは、ワイズメンズクラブの目的に始まり、主題とスローガン、役員と事業委員、西日本区事業目標、年間行事予定、会員連絡網、クラブの会則などが記載された約 20 ページに及ぶものでした。各クラブでも事業計画や委員会活動の計画など年初にまとめておられると思いますが、一年間を通じて、役員会や、総会などで手元に置きながら事業の実施状況や計画の進捗状況などを確認する機会を持つことが大切であると感じました。

(山口)

前期半年報より

西日本区 EMC 事業主任 山口雅也

目次

- 1) 九州部 EMC シンポジウム
- 2) 中西部 EMC シンポジウム
- 3) 西中国部 EMC 懇談会
- 4) 大阪高槻 会員必携
- 5) 前期半年報より
- 6) 編集後記

<<編集後記>>

毎日暑い日が続きますが、お変わりございませんか。第2号いかがでしたか。最後は少し言い難いことを書きました。がんばりましょう。来月はEMCの強調月間です。目標の実現に向けて行動し、変化できることを実感したいです。西日本区各クラブのEMC活動をお知らせしたいです。EMC事業実施報告書待っています。(山口)

<編集>

西日本区EMC事業主任
山口 雅也
(京都キャピタル)

<1> 前期半年報が西日本区から発表されました

中部 83名(6名減) びわこ部 89名(12名減) 京都部 507名(18名減) 阪和部 105名(3名減) 中西部 96名(8名減) 六甲部 139名(2名増) 瀬戸山陰部 46名(増減ナシ) 西中国部 61名(4名減) 九州部 241名(8名減) 合計の西日本区会員数 1367名(57名減)でした。前期から2クラブが解散し、クラブ数は78クラブです。

<2> 西日本区会員数の変化

西日本区会員数は、「2002年：約1800名」「2013年：約1600名」「2020年：約1400名」でした。18年間で約400名が減少しています。また、200名減少しているペースが、2002～2013年の11年から、2013～2020年の7年と早くなってきています。ここで、1400名を割り込んだこの期首ですが、とても大変な状況だという事になります。具体的な西日本区会員数の変化をご存じでしたでしょうか？

<3> 劇的な変化を遂げるために

今期、期が始まる前に各クラブにEMCの事業計画を書いていただきましたが、増員目標を合わせると283名でした。皆さまのメンバー増員したい気持ちがその数字に現れています。しかし、各クラブの2名や4名の目標が少しずつでも実現できなければ今期の西日本区300名の増員目標は水泡に帰します。各クラブの「何としてでも増やそう！」という気持ちが、アイデアや、取り組みの工夫を思いつかせ、実現にむけての原動力になると思います。各クラブの活動の継続や各地域での働きを期待されている方のためにも、あきらめず、正しいやり方で「何度でも何度でも」なのです。「達成したらいいな。」では無理です。そこは本気で取り組まないと変化は望めません。今期からでも、良い結果を生み出す、良い原因作りを始めましょう。

☆クラブメンバーが増えるには

- ・常にメンバーを増やそうという雰囲気クラブ内で盛り上げる
- ・この人は、と思う人にワイズの良さを伝え、クラブへの入会を誘う

☆クラブメンバーを減らさないためには

- ・メンバー間の懇親を常に行う 連絡を絶やさない
- ・クラブ内をきちんと保つ = 環境の整備をする
(時間厳守、出欠の返事をする、挨拶を交わす、期限を守る、小さな約束を守る、例会のしつらえを整える、服装を整える、お金をキチンとする事業に皆が出席する etc.)